

年 組 氏名

- 1 まず、下の新聞記事をじっくり読んでみてください。(朝日小学生新聞より)

あなたに手紙を書きます。人の意見に左右されるあなたに手紙を書きます。イソップ物語にこんな話があります。

ある時、親子がロバを連れて旅をしていました。通行人が、「ロバに乗ればいいじゃないか」と言いました。父親は息子をロバの背に乗せました。すると、また別の通行人が、「子どもを乗せるなんて、あまやかせてはいけませんよ」と言ってきました。通行人に言われるままに、今度は父親がロバに乗りました。そこへまたちがう通行人が来て、「自分は楽をして、子どもを歩かせるなんてひどい父親だ」とおこっています。仕方ないので、親子は2人でロバに乗りました。しばらくすると、別の通行人に「ロバがあまりにかわいそうじゃないか」と言われ、ついに2人はロバをかついで旅をしました。

ばかばかしい話だよね。人の意見に従うばかりで、この親子は自分たちで一つも考えていません。でも、笑えないよね。もしかすると、あなたもこの親子のように人の意見にふり回されているかもしれません。

大切なことは、自分の意見を持つこと。人に言われたからといって、だれかがロバに乗る必要もありません。交代で乗ることだって考えられます。自分で考えて、それを実行に移していれば、人の意見なんて気にならなくなります。

よく考えて、自分の意見で堂々と行動するように心がけましょう。ロバをどうあつかうかは、あなたが決めることなのです。

文・ひきたよしあき

- 2 この新聞記事に出てくる物語の名前は何ですか。

イソップ物語

- 3 この新聞記事の筆者は、どんなことが大切であるという意見を書きましたか。

自分の意見を持つこと

- 4 あなたが、人の意見に振り回されてしまった体験を思い出して書いてください。

※ 思い出して何か書けていれば正解  
(または、そのような体験はありません、思い出せませんと書く。)

- 5 「校長先生からの宿題」は、これで終了です。今まで、取り組んでくれてありがとうございました。下記に、感想を書いてください。

※ 自分の言葉で書けていれば正解 (書かないと点数に入らない。)

※ 現在の6年生は、3年間で合計100号の宿題に取り組んでくれました。